

第3回 MR研修会の開催趣意書

地域医療の現場では患者の高齢化が進み、複数の疾患を合併する患者が増加し、医療と介護が一体となった“地域包括ケア”の実現が喫緊の課題となっている。診診・病診・病病・医患・患者とあらゆる形態の医療連携のネットワークの中で、看護師・薬剤師そしてさまざまな介護職の人が関与することで、地域医療が形を整え機能していく。

MRの企業活動としての営業を否定しているのではない。疑問を持たず、MRが自社に有利な情報をただ伝えに来る営業を続けていけば、医師はMRの営業を拒み、しまいには不要となる。製薬企業からは“医師目線”“患者目線”さらに“社会貢献”という言葉をよく聞く。心地よい言葉のみ用いており、何をもってその言葉を口にしてしているのか疑問を感じるケースも少なくない。

製薬企業は広告という情報を自社の営業の中で主流におき、偏向した解釈を提示してきた。さらに、薬剤情報と医療情報を混同している現状もある。実地診療においては、薬剤情報と医療情報との差をわきまえ、患者という人の要素を認識して活動していかなければならないはずである。講演会は単なる薬剤情報の伝達会ではない。講演会は人を診るという医療におけるさまざまな事象を明らかにし、それを検討する会である。一見不都合と思える臨床上の出来事を、多様性の中でどのように的確に取り扱うことができるかを考える会であろう。そこには薬剤のみではない、人という臨床情報が重要となることを忘れてはならない。適正な医療情報なしに、適正な薬剤使用は存在しない。

さらに、MRが単なる医薬情報担当者ではなく、医療人として地域医療に参画できる道を模索していかなければならない。地域医療を理解し、その内なる存在にならなければ将来はない。医療人として医療連携の中に存在し、さまざまな職種の接着剤となる可能性はないだろうか。MRが自らの存在意義を示す時が訪れようとしている。社会人の中に、二通りの道がある。真の社会人と単なる会社人である。MRが真の社会人として、医療を取り巻く人々に、社会貢献することが、自らを存続させる問いに答えることとなる。製薬企業は社会貢献を社是に掲げているのだから、さまざまな活動に更に積極的に取り組んでもらいたい。市民公開講座などの医療の啓発事業にもっと目を向けてもらいたい。そのような中で公正競争規約の労務提供の拡大解釈の元、MRの適正な社会貢献さえも禁止するなどの考え方は改めるべきであろう。

この研修は「将来の地域医療における地域包括ケアシステムの中においても、MRが医療に携わる一員として適切に活動するための研修」を目指している。学会に属する医師らが講師を務め、実際に行われている医療への理解を深めてもらうことで、より臨床医のニーズに合致した的確な情報提供が実現できるよう促したいと考えた。

制度創設の目的は、医師が日常臨床の場でどのように診療をしているのか、MRにどのような情報を求めているかを伝え、地域医療を担う上で、臨床医とMRがより適切な関係を築く基礎を構築することが目的である。

カリキュラムは、実地臨床のさまざまな疾患における診療実態を学ぶ、医療学と考えていただきたい。この研修会がMRとしての能力を研鑽する一助となれば幸いである。

神奈川県内科医学会
会長 宮川 政昭

横浜内科学会
会長 小野 容明

第3回MR研修会 開催案内

日時：平成29年8月27日（日）9:30～16:30

会場：神奈川県総合医療会館7階大講堂（横浜市中区富士見町3-1）

共催：神奈川県内科医学会・横浜内科学会

- 9:30 開会の辞 宮川 政昭（神奈川県内科医学会会長）
- 9:40 「医療の様変わり：これからの医師とMRの活動」 長谷川 修
- 10:10 「膠原病リウマチ疾患を疑う症状」 上田 敦久
- 10:40 「パーキンソン病の病態と治療」 山田 人志
- 11:10～11:25 -15分休憩-
- 11:25 「糖尿病診療 Up to Date ～個別化治療へのニーズに応える治療オプションを考える～」
川田 剛裕
- 11:55 「循環器疾患とタバコ」 北田 守
- 12:25～13:30 -昼休憩- ※1階カフェは営業していません
- 13:30 「高血圧とは？」 南澤 康介
- 14:00 「こんな あんな 肝障害」 永井 一毅
- 14:30～14:40 -10分休憩-
- 14:40 「認知症と運転免許」 渡部 廣行
- 15:10 「SAS診療の地域連携」 小野 容明
- 15:40～16:00 -レポート- *受付のレポート提出箱へ
- 16:00 ディスカッション 座長：宮川 政昭
- 16:30 閉会の辞 小野 容明（横浜内科学会会長）

*参加費1万円は、当日受付にて領収書と引き換えに受領いたします。

*参加希望者は、別添の参加申込書を横浜内科学会事務局あてにファックス

(FAX:045-201-8768)を送っていただくか、下記までご持参ください。

注) 8月24日（木）必着とし250名に達した時点で締め切らせていただきます。

一般社団法人横浜市医師会

担当部署 学術広報課（内科学会担当：土橋）

〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1 7F

gakujutsu-kouhou@yokohama-med.or.jp

tel.045-201-7362 fax. 045-201-8768

横浜市医師会学術広報課 行(FAX. 045-201-8768)

第3回 MR 研修会(8/27)参加申込書
(神奈川県内科医学会・横浜内科学会共催)

ふりがな 氏名	
生年月日	西暦 年 月 日
住所	〒
電話	
会社名	
申込み日	2017年 月 日